

◆念願がなつて

平成29年も色々なことがありましたが、個人的に良かったことは、9月に焼津の小泉八雲資料館に行けたことです。焼津は海と人々に惹かれた八雲が何度も避暑に訪れた土地です。記念館は今年開館10周年を迎え、焼津と八雲の関係を紹介するとともに、縁の資料も多数展示されていました。なかでも私が一番見たかったものは、焼津滞在中の八雲が東京で留守をしていた妻セツに宛てて書いた手紙です。当館には、この手紙の写しがあり、八雲直筆の手紙を拝見したいという念願がかなって感激しました。

記念館を後にし、八雲が滞在していた魚商人・山口乙吉邸跡地へ行ってみました。現在は小泉八雲顕彰会が建立した記念碑が立つて



岡田清和「早春の妙高山」F30（平成16年4月）

います。ぶらぶら歩いて、浪除け地蔵まで来ると防波堤の先に海が迫っています。八雲が愛した焼津の雰囲気を感じることができ良い旅でした。
（広田かおり）

◆食習慣から見えるもの

メタボが叫ばれて久しいが、相変わらず脳梗塞、心筋梗塞などはなかなか減らないようだ。関連によると、これら動脈硬化に起因する病は事前予知が可能という。つまるところ「血管プラーク病」と認識を新たにし、プラークをコントロールする以外に解決策はないらしい。

今から約2年前、人間ドックの検査で自身でも驚いた。頸動脈エコー検査で軽度のプラークを指摘されたのだ。軽度とはいえ、同年代の平均値より高かった。食事の見直しと体重減によりメタボはクリアしていたが、その後食事をさらに見直した。翌年の検査では、左右それぞれ0.2〜0.3mm減となったので少し安堵したが、基準値はさらに厳しく、まだ減らさなければならぬ。プラークをコントロールできたうれしさもあるが、大好きな肉や油由来の食材はだいぶ減らした。結局のところ、酸化した油が一番良くないようだ。

血管プラークの観察ポイントは他に右鎖骨下動脈、腹部大動脈、大腿動脈があるそうだ。関連本に「健康にいいことをするのはなく、健康に良くないことをしないこと」とあった。そのうえで健康にいいことを少しでも心がければいいのだそうだ。
（岡西英孝）

◆東海道新幹線に乗って

関西とご縁ができて東海道新幹線を利用する機会が増えました。乗ってみると上越新幹線よりも速く感じます。調べてみると上越新幹線の最高速度が240キロで、東海道新幹線の最高速度は285キロ。スピードの差を感じる訳です。たびたび誘ってもらいますが、浦佐から片道約4時間はなかなか出かけることができません。

2027年にリニアモーターカーが中央新幹線として東京―名古屋間が開業する予定です。リニアモーターカーの最高速度は500キロ以上になるそうです。乗った時にどんな感覚になるのかとても楽しみです。

そして、2045年には東京―大阪を1時間で結ぶ夢のような話が現実になるようです。もつと気軽にかけられる日も遠い話ではありません。その日まで元気でいられるかどうか。一つ残念なことは、全体の85%がトンネルの中だということです。
（佐藤良子）

◆最高の日

中学生生活も早いもので半分が過ぎ、イケビ通信では幾度となく娘の部活の話を書かせていただきました。またか……ですが、1年生の時は人数も少なく細々と活動をしていた女バス。勝ちを味わうことなど夢のまた夢、得点が入ればラッキーという状態のチームでした。そんな女バスでしたが、1年生大会から始まり、今年の新人戦まで、偶然なのか、それとも奇跡？そこはやはり努力の成果なのかは分かりませんが、着実に勝利への階段を上り、そして、いただきました！優勝カップ！新人戦でとうとう、優勝を掴み取ったのです。私はあまりの嬉しさに感動というより、信じられない気持ちで状況を把握できませんでした。私がそうだったのだから娘はもっとそうでした。スタメンの交代は一切なく、

緊張の中、5人は戦い抜きまわした。終了後はスイッチが切れたかのように呆然としていました。誇らしい賞状とカップを手に最高の笑顔の女バスでした。
（山口加奈子）

◆錯覚展が帰ってきました！

今年の3月のこと、八海山麓スキー場を舞台に、明治大学の杉原厚吉先生設計の「雪の錯覚すべり台」を地元ボランティアの皆さんの協力で作成し、NHK首都圏で放映されたり、新潟日報はじめ各紙で紹介されましたが、来年のスキー場開設50周年記念を兼ねたホワイトカーニバル当日（3月4日）、再び挑戦します。今回は両目を開いて見ても、すぐに錯覚がわかるように（えっ、どうして？子どもの乗ったソリが上に向かってすべっていくよ！）準備万端作ります。そのため、杉原先生においでいただき、測量も終了しました。あとは天気次第。ご期待ください。

あわせて、美術館では大好評だった錯覚展を今冬も急遽開催、ただいま展示中です。新作と未公開作品が多数あります。子どもたちは入館無料、ご家族いっしょに不思議世界を体験してください。
（高橋良一）



岡田清和「12月の柿」F10（平成19年12月）

■ はり絵作家・岡田清和展

◎期間：～12月24日（日）まで

妙高市在住、聴覚障害と知的障害を持ちながら、はり絵作家として活躍する岡田清和さんの作品展です。ふるさと妙高の風景や花や動物たちを描いた作品は感動を呼び、中学生の道徳の副読本で紹介されるなど、高く評価されています。これまで原田泰治美術館ほか各地で紹介されてきましたが、魚沼地域での開催は初めてとなります。今回の展覧会では、市内の小中学生が選んだ作品を含め、約70点を展示しています。

■ 〈冬季特別展示〉錯覚展 2017-18 —不可能立体の不条理世界 Part 2—

◎多目的ホールほか特設会場 ◎期間：～3月27日（火）まで

大好評だった「錯覚展」が1年ぶりに帰ってきました。東大名誉教授、明治大学特任教授の杉原厚吉先生が制作した、実際とは違ってしまう錯視作品を紹介します。本当のことがわかっていても、それとは別のものを見てしまう脳の不条理な振る舞いを体感し、視覚の不思議さと危うさについて学んでみましょう。今回の冬季特別展では、新作と未公開作品を多数展示しています。

■ 〈特別展示〉子どもたちの抽象絵画展

◎2階展示室Ⅱ ◎期間：～1月16日（火）まで

11月に終了した「八色の森の子ども絵画展」で展示した作品のうち、浦佐小学校3・4年生、赤石小学校6年生、後山小学校全校児童、総合支援学校小学部の子どもたちが出前授業で制作した抽象絵画、合計132点を好評につき継続展示中です。

■ 美術講座「ラグーザ・お玉の世界」

明治時代、イタリアで活躍した日本人女性画家の人生と作品を読み解く。

講師：長谷部昇（元トミオカホワイト美術館館長）

日時：12月16日（土）14：00～15時30分 参加料：1,000円（入館料込）

■ 第62回 南魚沼郡市児童生徒美術展

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：1月6日（土）～1月16日（火）

南魚沼市及び湯沢町の児童生徒の作品約500点を展示。子どもたちの創作意欲がいきいきと伝わってくる展覧会です。期間中は全館無料となります。

■ 雪見展

◎エントランスホールほか ◎期間：1月7日（日）～8日（月・祝）

一年の始まり、心も体も暖まるイベントがまたやってきます。前回は2日間で2,500人以上の来館者で大賑わいでした。クラフト&雑貨、ワークショップ、リラクゼーション、古本市、デッサンコーナー、飲食コーナーなど多彩。両日とも全館無料です。

■ 常設展示 & 収蔵品展示

常設展示：小泉八雲文学資料室、スポーツ文化資料室

収蔵品展示：2階展示室Ⅱ（會津八一、ラグーザ・お玉、星襄一、芹沢銈介）※1月16日まで

◎他のイベント情報

■ 池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」※参加費無料

12月17日（日）

11：30～ 月例音楽会（フルート、ピアノ、ギターほか）

14：00～ フォーソングの日

年間パスポートがお得です！

料金3,000円で発行日から1年間有効。初回申込特典①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒーチケット2枚をプレゼント。

展覧会のご案内

〈交差する写真展〉

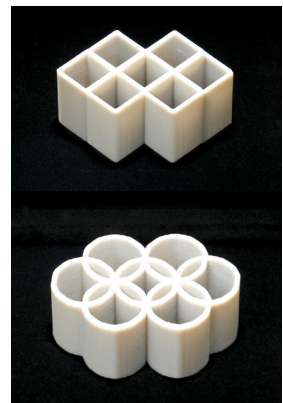
フジフィルム・フォトコレクション
日本の写真史に名を刻んだ
101人展

VS

魚沼ベストショット展
Part VII

2018年1月20日（土）
～3月27日（火）

詳細は1月号で



変身立体「交差する7円と正方形格子」
鏡に映すと、直接見た姿とはまったく別の姿が見えてくる立体です。（錯覚展）



ラグーザ・お玉、星襄一、芹沢銈介の作品と一緒に、子どもたちの抽象絵画を展示しています。（子どもたちの抽象絵画展）

一箱古本市@イケビ

入場無料

美術館エントランスホールにて

個性豊かな一箱本屋さんがイケビに大集合。ワイン箱に本を並べて販売します。小説、実用書、美術書、絵本……どんな本があるかな？

2018年1月6日（土）
～1月16日（火）

※最終日は15時まで

ワークショップ

（ブックカバーでバッグ作り）

1月13日（土）13：00～16：00

参加費300円 ※当日参加可

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9：00～17：00（入館受付は16：30まで）

【入館料】一般 500円 高校生以下無料

【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【12月の休館日】

※水曜日（6日、13日、20日）

※12月24日（日）は最終日のため15時閉館

【年末年始の休館日】

※12月25日（月）～1月5日（金）